

令和5年度庄原市学校図書館研修会 兼 学校司書研修会

- 日 時：令和5年7月3日（月） 13：00～14：55
- 場 所：庄原市ふれあいセンター
- 対象者：庄原市内各小・中学校の図書館担当者22名、学校司書10名

目 的

児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を促進する学校図書館づくりについて研修することを通して、学校図書館担当者と学校司書が連携し、図書館の活用と児童生徒の読書活動の充実を図る。

講話 「学校における読書活動推進について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 砂走 敏和



学習指導要領における学校図書館の位置付け等について確認するとともに、令和4年3月に策定した「庄原市子供の読書活動推進計画（第四次計画）」について周知した。

- ・庄原市では「庄原の子供は今読んでいる本がいつも鞆に入っている」を合言葉に、具体目標を定め、学校・家庭・地域が一緒になって読書活動をさらに推進していく。
- ・読書活動推進は学校全体で行う必要がある。そのため、特に学校図書館担当者と学校司書の連携、協働は重要である。

実践発表・交流・協議 「学校全体で行う読書活動推進の取組について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 砂走 敏和
実践発表者 庄原市立庄原小学校 教諭 松園 早紀



庄原小学校による読書活動推進の取組の実践を聞き、参考になったことを交流した。その後、「環境整備」、「学校全体での読書推進活動」、「児童生徒の活動」、「授業における学校図書館活用」の4つの視点で自校の取組について振り返り、他校と実践交流した。

庄原小学校の取組

…子供司書認証者による活躍の場の設定、高校の図書館見学により読書環境づくりの参考とするなど

他の学校の取組

…本の貸出を毎日行うこと、ビブリオバトルの実施、家庭での読書機会の確保など

【参加者の感想】

- ◇ 児童が主体となってすすめる活動や、他校・外部の方との連携、職員全員で関わる、家庭を巻き込むなど、大変参考になった。
- ◇ 読書推進活動（イベント）を学期に1回行うことで、職員も、読書・図書に目を向けられるようにしていきたい。
- ◇ 小学校と中学校との日常的な連携が難しい中、兼務をしている学校司書の役割が大切だと思った。小・中学校のかけ橋の一翼になりたいと思った。